

愛知スキー協通信 No.341

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2023年7月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL.052-201-4801(Fax 共)

e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：直滑降スキークラブ

スポーツ文化の継承とその先を見つめて

文責 愛知スキー協理事長 寺田 康男



昨スキーシーズンは、雪不足で例年より早くシーズンが終わりました。あいかわらず 新型コロナウイルス感染の心配は無くならず、経済状況の悪化、深刻な雪不足、クラブ運営の伝承不足等、様々な問題が、終わりの打開策もみえずに存在しました。それでも総会は終わり今シーズンが始まります。運動の方向性は引き続き、新たな結果を出しながら先に進んでいる実感を皆で共有したいです。

先ずは、年齢の高まりとともに筋力の低下は、自粛による運動不足で体力の低下やバランス能力の低下を促進しました。そして自粛が解かれたから起きている怪我の多発状態です。

それは、運動中の事故で無く、停止状態の動きをやめているときの気の抜けた状態での転倒単独事故です。転倒をきっかけに痛みが続き、動きに不自由さを感じ、行事に参加出来ないでいる人を多く目撃しました。皆も見ているはずですが、話に出てこないです。

無意識転倒が原因で、怪我が多発していると皆で共有化して認識していればと考えると、これこそが「教え合う」の実践対象の練習問題なのです。

- ① 怪我をしているのに、そのあとの報告や保険の手続きをするまでにはならないから問題なのです。ほとんどの人が知らないままです。
- ② 「たいした事でない」「怪我は自分だけの・自己責任」「老化現象だから減少しないのは、しょうがない」という自己判断にとどまっています。ですから皆で集団的に対処方法を考えていないです。
- ③ 去年とは明らかに違う変化に気付いていません。身近で一番多く発生している大問題と認めていないのです。
- ④ 情報をもとに、高齢化にあわせた気力の高めかたや、筋トレもできていれば、脳機能のアンバランスをおぎないきれたと私は感じます。

「教え合う」は、指導員を増やすなかでクラブが増えた事や、教室を指導経験するなかで自分の技術もつけたし、生徒の技術も引き上げてきました。これは、今までもこれからも、期待されるスキー協の原点です。「スキー協らしい組織作り」という観点で、スキー教室だけでなく、会議や運営の実践の中で「教え合う活動」が定着する必要を強く感じます。一方的な教え込みや伝達でなく、教わる側の変化や感覚の違いから学びとり、皆で考え、試行を繰り返すという愛知スキー協的な民主的な活動になります。

昨年の総会で、理事会で、役員会で、確認したはずが、日常では実践されていない議題の中だけの空論にとどまり、皆のものになっていないように感じます。



深雪スキークラブ

第 45 期総会終わる

6月18日（日）東海市しあわせ村にて深雪スキークラブの総会を行いました。

午前中はしあわせ村の調理実習室を使ってのお料理教室でした。初めての企画ですが、例年山へ行って山菜のてんぷらを作って食べたり、BBQをやったりしているのでお料理はみんな手慣れたものです。メニューはお好み焼きとチヂミの両

方でしたが、お店でも作ることが多いので、材料がそろったら、切って、混ぜて、焼いてあっという間にできてしまいました。みんなで焼いてみんなで食べるお好み焼き、チヂミは絶品です。水がちょっと多くて、やわらかくても、ひっくり返すのに失敗して丸くなくても、おいしかったです。いくらでも食べられそうでしたが、さすがに私も食が細くなっているので、1枚ずつでやめておきました。



お腹がいっぱいになって満足したところで、午後からは本題の総会に入りました。深雪会長の挨拶も、スキー協会長の挨拶も近年ケガが多くなっているという話でした。気をつけないといかんですね。深雪では今まで会計をやっていて、決算、予算をきっちり報告してくれていた東さんが病気になってしまい会計の仕事ができなくなり、昨年度は浅井さんが

代わってやりました。引継ぎをやる余裕もないうちに交代したので、決算報告にたどり着くのに苦労したようで、討議では鋭い質問を受けていました。コロナも収まってきたところで、深雪クラブでも来年あたり海外スキーに行きたいという希望がぼちぼち出てきました。クラブには海外スキーの経験者が結構多く、これまでの経験をいろいろ話してくれましたが、今は燃料代も上がっているし、ロシア上空は危険なので避けていくとなると時間がかかるので、今行かなくてもいいのではないかとの方の意見でした。議事が滞りなく終了した後、桑原さんがヨーロッパへスキーに行った時の写真をプロジェクターを使ってみんなに見せてくれて、また行きたい気持ちになりました。今年度一年もスキーをたくさんへ楽しめそうな予感で総会は終了しました。（深雪スキークラブ 安藤 洋子）



第 33 回定期全国スキー協総会の報告

全国スキー協は6月11日に第33回定期全国総会をオンラインで開催しました。当日は代議員定数80人に対して北は北海道、南は福岡から66人（委任状が2人）が参加しました。愛知からは寺田（ハダシ）、永田（直滑降）、浅井・安藤（深雪）の4人が出席しました。議長（大阪：赤木、千葉：佐々木）、選挙管理委員長（愛知：寺田）、資格審査委員長（静岡：加藤）を選出した後、会長挨拶で総会は始まりました。

和田会長は挨拶の中で新型コロナウイルスが5類になり、少しずつ元の暮らしに戻りつつあること、地球温暖化でスキー環境が悪化している事、組織が高齢化していることを取り上げながら総会を契機に前進にむけて取り組もうと話されました。また、平和の問題ではロシアによるウクライナ侵略が一日も早く終わることを願っていると締めくくりました。

全国常任理事会からの総括と方針が説明された後、討論では「規約改正」で「会計年度」と「活動年度」が1カ月ずれる事について論議になりました。討論後に賛否をとり保留・反対がそれぞれ4票、賛成多数で可決されました。また総会議案そのものも保留2賛成多数で可決されました。

今回可決された方針で特徴的なのは

- ・組 織 局：100万円をかけて全国スキー協ホームページのリニューアルと各県スキー協のホームページ作成を全国主導で行う
- ・2024年のサマーセミナーは青森市で開催する
- ・各クラブ10%の会員増を目標にする
- ・技 術 部：デモ選・STCを北海道で開催する
- ・競 技 部：第50回競技大会は全国主管で2月24～25日湯の丸スキー場で開催する
- ・山スキー部：山スキー部のホームページが完成した事



組織アンケートでは23都道府県から回答が寄せられました。「コロナが収束に向かう中で3年ぶりにバス行事を復活させ、参加者から喜ばれた」「ブロック主催の行事が146名の参加で大成功した。」「道主催のクラブ対抗競技大会が大盛況だった」「ホームページで会員・行事参加者が増えた」「市民センター等にチラシを置いて貰う等、外への宣伝が功を奏して行事参加者が増え、そこから会員拡大につながった」等前進面もある中で、まだまだコロナから抜け出せずにいるクラブや高齢化の影響で組織が後退し組織崩壊の危機に陥っている状況も多数ありました。クラブや県、ブロックでの合同行事開催やスポーツ連盟の多種目との連携なども積極的に行い構えの大きな取り組みを行うことが大切だと実感しました。

役員選挙は総会がオンラインであることを考慮し事前投票も促しながら昼食休憩で締切り立候補者全員が信任されました。

第1回常任理事会を開催し理事長には引き続き小川（青森）が担当する事になりました。長い間、全国役員をされていた海野さん（事務局長）と吉田さん（山スキー担当常任）、寺田さん（競技部・東海ブロック担当常任）が勇退され、新たに伊藤みどりさん（栃木県）が新任の事務局長に選出されました。他には加藤さん（静岡）、杉田さん（神奈川）、島崎さん（東京）が新たに常任理事に選出されました。

主な役職は以下の通り（役員・東海ブロック関係）※敬称略

会長：和田 利男（兵庫） 理事長：小川 洋（青森） 事務局長：伊藤 みどり（栃木）

常任理事：加藤 直宏（静岡） 理事：永田 政広（愛知） 理事：佐藤 実（岐阜）

（全国スキー協通信No.513号より抜粋）

スキーマイト199号 【PR】

2022-2023 シーズンも終わりを迎え、全国スキー協も次期に向けた総会が6月11日に開催されました。皆さま、スキーシーズンは楽しかったですか？満足いく滑りができましたか？ ☑スキーマイトも気づくと2023年6月発行号で199号になりました。

199号のグラビアは2月末の全国スキースノーボード競技大会です。全国競技大会で優勝した、愛知の寺田康平さん（ハダシ）が表紙に掲載されています。

そしてスキーマイト読者アンケートで要望の多かった技術解説として、全国デモ選の検定種目を連続写真で掲載し、検定員の野瀬孝技術部長に解説していただきました。皆さんの参考になればと思います。

◆会員の皆さんにお願い☑☑

スキークラブや都道府県、ブロックなどでよく利用する、おすすめのスキー場や宿泊施設を編集部にご教えてください。現在、都道府県スキー協の機関紙を全国スキー協事務所に郵送いただいておりますが、事務所には常駐者がおりません。機関紙をデータで下記のメールアドレスに送っていただけるとありがたいです。☑☑そのほか、投稿もお待ちしています。よろしくお願いいたします。定期購読につきましては、各クラブのスキーマイト担当までお問い合わせください。

Mail les_mise48@yahoo.co.jp（スキーマイト編集部☑伊藤みどり）



新日本スポーツ連盟愛知県連盟クラブ代表者会議の報告

新日本スポーツ連盟愛知県連盟は6月25日（日）に第42期第8回クラブ代表者会議を名古屋市中区新栄の民主会館にて開催しました。クラブ代表者会議は総会の開催がない年に開催します（2年ごと）。当日の実出席：14名、委任状提出：12名でした。スキー協からは深雪の児玉さん、直滑降の永田が出席しました。



会長挨拶から始まり、第1号議案から第3号議案まで、鈴木事務局長からの説明がありました。その中で、役員の確認（任期2年の2年目）があり、スキー協からは引き続き永田（直滑降）が常任理事、澤田さん（イエティ）が理事を務めることになりました。

最後に第1号議案～第3号議案の採決を行い、満場一致で可決されました。